

2022年1月5日

報道関係各位

2022年 年頭社長挨拶(要約)

株式会社ツムラ

株式会社ツムラ

コーポレート・コミュニケーション室

広報グループ 担当：野村 貴久

TEL 03-6361-7100

## 過去と未来をつなぐ

2022年の干支は<sup>みずのえとら</sup>壬寅です。<sup>みずのえ</sup>壬は荷を担う、任務を立派に処する、という意味をもちます。<sup>とら</sup>寅の「宀（う・かんむり）」は建物、組織を表し、真ん中は人がさし向かいになっている象形文字で、手を合わせる、協力するという意味があります。転じて、<sup>みずのえとら</sup>壬寅は、一人ひとりが責任をもって任務を全うし、お互い助け合いながら成果をあげる年といえます。一人ひとりが使命感に燃え、ツムラグループが一体となり、チームで大きな成果を生み出す年としていきましょう。

当社は、理念に基づく経営を継続的に実践してきております。「自然と健康を科学する」という経営理念と企業使命である「漢方医学と西洋医学の融合により、世界で類のない最高の医療提供に貢献します」からなる基本理念は、創業者の想いや事業の志から生まれたものです。どのような目的で、何の事業を行うために創業したのか、また、将来に渡り社会から必要とされ、存在し続けるために、究極的に何を成し遂げていくのか。すなわち、これが当社の「事業の志」であり、これを簡潔に表した言葉が「パーパス」です。

1893（明治26）年、中将湯本舗 津村順天堂として創業しましたが、「順天」は事業を行う上での原理原則であり、天地自然の理法に順って事業を行っていくという覚悟のあらわれです。和漢婦人薬「中将湯」の価値を信じ、社会や人々のお役に立つ「良薬は必ず売れる」という「信念」を貫き、当時、社会的弱者であった女性に寄り添い、自然（和漢薬中将湯）と科学（処方改良と医師による薬効証明・エビデンス）の力で向き合いました。

昨年から進めている「#OneMoreChoiceプロジェクト」は、女性の心身の不調に対して我慢に代わる選択肢をとれる社会、心地よい社会の実現を目指す、創業の想いに通じます。お陰様で社会からご評価をいただくことができました。未来へ向けてキュア（治療）からケア（健康サポートへと、社会の価値観・ニーズが大きく変わってきていると感じています。

もう一つ社会の価値観が大きく変わっていることがあります。それは、人々の健康に加えて、社会の健康、地球の健康です。私たちが事業を行う前提として、持続可能な社会（サステナビリティ）の実現が不可欠です。昨年10月に「サステナビリティ委員会」を新設し、当社グループの温室効果ガス排出量を2030年に50%削減すること、2050年にはカーボンニュートラルの実現を目指しています。

論語の「和して同ぜず」や聖徳太子の「和をもって貴しとなす」の“和”とは、お互いに考え方や意見が異なっても組織の目的のために同じ方向に向かって、協調しながら進んでいく態度であるといえます。本年も全員が同じ方向へ力を合わせて進んでいきましょう。

以上